

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Inebilizumab療法

主治医	指導医	疾患名 視神経脊髄炎スペクトラム障害
スケジュール		HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

	初回	2週後	初回から6ヶ月後
ユプリズナ(イネビリズマブ) 300 mg/body	1回目	2回目	3回目
	↓	↓	↓
	※ 4回目以降は6ヵ月おきに投与		

- 【注意】
- * 初回、2週間後に点滴し、その後、初回投与から6ヶ月後に、以降は6ヵ月ごとに点滴する。
 - * 0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを通して投与すること。
 - * 前投薬として、レスタミンコーワ錠(10 mg)5錠 およびカロナール錠(500 mg)1錠内服投与する。
 - * 溶解後の安定性が悪いため、調製後4時間以内に投与する(保管する場合は2～8℃で24時間まで)。
 - * イネビリズマブ投与開始直前に、薬剤部へ調製開始の連絡を行う。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| ① 生食 250 mLで血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② ソル・メドロール125 mg | 側管静注 |
| レスタミン錠 10 mg 5錠 | 内服 |
| カロナール錠 500 mg 1錠 | 内服 |
| ☆ 30 分後より | |
| ◎ メインの生食でフラッシュ | |
| ③ ユプリズナ 300 mg + 生食 250 mL | |
| ◎ 輸液ポンプにて 42 mL/時間 で点滴静注 | |
| ④ 42 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ | |
| ◎ 輸液ポンプにて 125 mL/時間 で点滴静注 | |
| ⑤ 125 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ | |
| ◎ 輸液ポンプにて 333 mL/時間 で点滴静注 | |

イネビリズマブ療法

◎ メインの生食でフラッシュ

☆ 投与後少なくとも1時間は患者の観察を行う

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
月日	/	/	/	/	/
ユプリズナ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					